

よっ葉だより

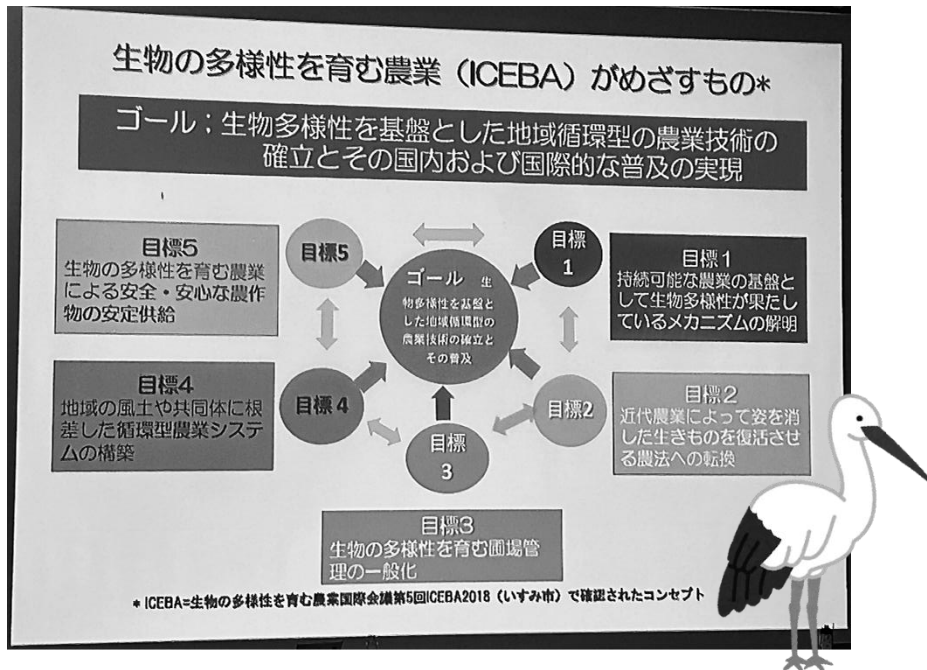
2025 年
8月25 日号
No.849

～地産地消～
いのちと健康くらしを守る
よっ葉生活協同組合

2025/7/12.13 ICEBA7 生物の多様性を育む農業国際会議に出席しました！
in 徳島県小松島市

ICEBA

International Conference for Enhancing the Biodiversity in Agriculture＝生物の多様性を育む農業国際会議



「生き物の多様性」という言葉から、皆さんはどんな事を連想しますか？生物の多様性は農業にも深い関係があります。コメ不足の現状を背景に食料について考える機会はより重要性を増している現在ですが、今回 ICEBA 7 の中で、昔の稲作の話も紹介されました。日本では古来は肥料も農薬も不要な稲作をしてきました。その当時は現在よりも収量は多く、多様な生態系の中でバランスの取れた自然環境があり、自然の恵みとしての農作物を人間が頂きながら、その土地とともに命をつないでいました。その後、化学肥料が登場し、収量を増やすために土壌に肥料を与えるようになったと同時に肥料の栄養分を餌とする害虫が増え、その増えた害虫を死滅・排除するために農薬を使うという、人間がより一層手をかけなければならない農法が現在農業の基本に変わっているというお話でした。農薬は、害虫と同時に益虫（害虫の天敵）も死滅させてしまいます。虫を餌に命を繋いでいる生物もたくさんいる中、生物多様性は失われていき、農地の絶滅危惧種は数えられないほど。生物多様性を意識する農業とは真逆の状況です。もはや自然に放置しては生態系バランスが取れず、人間が手をかけ続けないと収穫もできない稲作が通常です。特にネオニコチノイド系農薬は残留性が高いため途中で散布を控えても、生態系は戻ってきません。再生には何十年単位の年月が必要です。食物連鎖のバランスが崩れ、害虫の大量発生など簡単に解決できない問題が発生しています。

ところで、小山市が力を入れているコウノトリが飛来する「ふゆみず田んぼ米」はよっ葉生協でも取り扱っていますが、生物たちのための餌場を増やすため、冬の田んぼにも水を張る取り組みです。コウノトリは食物連鎖の頂点

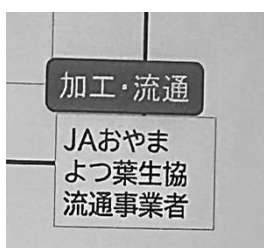
に立っている鳥ですので、豊かな生態系がない環境では生きることができません。コウノトリは大食で肉食ですので、様々な生き物を食べます。農薬を減らし、生き物が暮らしやすい環境でしか、コウノトリは生きていくことはできないのです。

ICEBA 7 には渡良瀬遊水地をラムサール条約湿地への登録実現した立役者である小山市の浅野市長も登壇され、コウノトリにも大きく関わる有機農業への取り組みについて、またその取り組みを加速させるために公共調達的手段でもある給食への有機米提供の考えについてもお話されました。同時にこの農業国際会議（ICEBA）を立ち上げたのは、上三川の NPO 法人民間稲作研究所の故稲葉光國先生です。わたしたちの身近な方々の活躍を感じながら、わたしたちよっ葉生協も一緒に取り組める環境を大変嬉しく感じました。生物多様性を実現すればするほど、「自然と害虫と益虫のバランスが取れる人間の手がかからない方向への農業ヘシフトしていけること」もちろんですが、何より人間は自分たちだけの都合を考え、生態系を無視しながら生きていくことが、この地球で可能なのでしょうか？いつでも便利に形のきれいな同じ野菜が売り場にそろっていて自由に食べられる。お米も勝手に農家さんが作ってくれている。そんな意識で未来の次世代に豊かな地球環境をつなげていくことができるのでしょうか？私たちの食べ物はどこからきているのか？どのように作られているのか？それを知って、自分たちは何を農家さんに望むのか？流通している農作物は、高い・安いだけの価値観で選んでよいのでしょうか？荒廃農地（耕作放棄により荒廃し、作物栽培が不可能となっている農地）の問題もあります。豊かな田園風景は当たり前ものではないと改めて感じました。

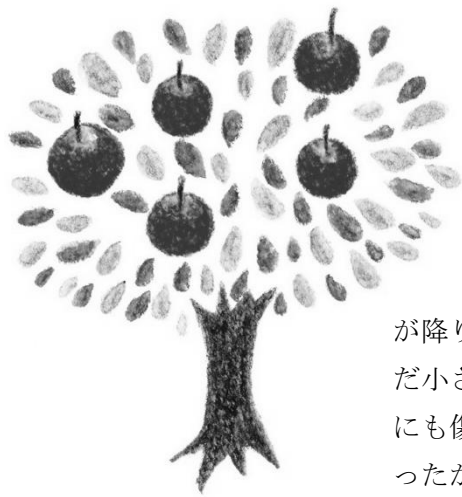
農家さんは地球の土地を維持しながら守ってくださっている方々でもあります。皆さんも考えてみてください。日々の食卓の中で、どれが国内で作っているものでしょう？それは自分たちの地域で作られていますか？農薬を極力使わずに農業を営んでいる生物多様性を意識した農家さんへの深い理解も必要不可欠ではないでしょうか。是非、身近な農家さんにも声を届けるためによっ葉生協の場を利用してください。生産者交流会や生産者宛てのメッセージ、また消費行動も消費者としての想いを届けるという形になります。消費と生産は両者で成り立つことができます。

最後に、今回の会議の主催者はコープ自然派（ネットワーク2 1 グループでよっ葉と一緒に活動している仲間生協）でした。私たち生活協同組合にできることはたくさんあります。生物多様性を意識した環境づくり、わたしたちの食について、改めて日々の生活の中でも意識を向けてみませんか？よっ葉生協の組合員活動の中でも真摯に取り組んでいきますので、これからも一緒に考え、よりよい環境づくり、わたしたちの地域づくりの一端を担っていきましょう！

理事長 横山 美裕紀



吉池農園・アップルファームさみずに行ってきました！！



2025 年 6 月 5 日訪問してきました。

① 吉池農園（黄金桃・ワッサー・りんご）

今季は開花時期が遅れたこともあり、遅霜の被害も少なく、順調に生育していました。しかし、同年 5 月 21 日、吉池農園がある長野県須坂市に竜巻が発生したのか、台風のような強風・雹が降りました。当日の様子を聞くと、

「竜巻注意報が出たのは生まれてはじめて。目の前が見えないほどの雨で異常な光景だったよ。急に雹が降り出したかと思ったら、今までにないような音。激しすぎて、怖くて外にも出られなかったよ。りんごはまだ小さな実だったから落ちることはなかったけど、雹にあたって傷が沢山出来てしまった。りんごのお尻の方にも傷があるということは、跳ね返った雹がぶつかったんだよね。桃は運よく、雹があまり降らなかった圃場だったから大丈夫だったけど、今年りんごはかなり減るかも・・・」

今季の吉池さんのりんご

A 品の基準をすこし緩めることを検討しています。

A 品が少なく、規格外品が多くなります。

何年か前、他産地でもりんごへの雹害があり、多くのりんごが出荷出来なくなりました。そこで考えられたのが、訳ありりんごの販売。「好ひょう EKB りんご」「雹 kiss りんご」「的中りんご」などで販売されています。雹にあたったりんごは、見かけや、味への影響もあることもありますが、傷の部分を切り取れば問題なく食べられます。

食べて産地応援！！

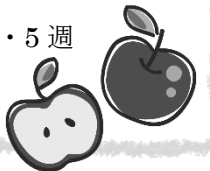
今季の吉池農園のりんごを宜しくお願い致します。

吉池さんのりんごの企画予定

シナノピッコロ 9 月 4 週～10 月 2 週

シナノホッペ・ぐんま名月 10 月 4 週・5 週

ふじ 1 月～3 月



② アップルファームさみず

同日 6 月 5 日訪問。今回は今季のりんごの打ち合わせ、圃場の確認と同時に、2022 年から始まった、ネオニコ不使用りんごオーナー登録者から集める「自然災害支援基金」を今年度から「継続支援基金」（1 口につき 25 円）へ切り替えることになったため、2023～2024 年度分の自然災害基金をお渡ししてきました。こちらは、主に栽培における必要経費としてコンヒューザーAA の購入に役立てていただきます。

コンヒューザーAA は「省農薬」で栽培するために必要なフェロモン剤※です。

また、さみず代表の山下さんの圃場では今期遅霜の被害を抑えるために防風ファンを 4 機設置しました。農業資材は年々高騰しているのに、国の圃場は減少。少しでも生産者の手助けになるように継続支援基金を続けていきたいと思います。

今期は高温が続く、雨不足。雨が少ないため、病気の発生は少ないのですが、日焼けや、サビ果が多い傾向です。

気候変動における病害虫の被害は年々拡大しています。今まで少なかった病気や、害虫も多くの産地で確認されています。さらに肥料や農薬の価格も高騰。アップルファームさみずも、このままでは特別栽培基準で栽培ができなくなる段階に差し掛かっています。生産者を守るためにも私たちでできることを考えていかなければなりません。

（※）フェロモン剤

自然界に損じする生物やその生物室を利用した製剤で、環境にやさしい農薬として特別栽培農産物や、IPM（総合的害虫・雑草管理）推進のための防除資材として注目されています。人や生物環境に悪影響を与えない安全性評価基準を十分にチェックされたものです。

今期、ムーンルージュに続き、珍しい赤肉果実の「なかののきらめき」を 11 月 2 週にご案内予定です。楽しみにお待ちください♪

2025 年 6 月 5 日 アップルファームさみず 様

自然災害支援基金 ￥274,990

ネオニコ不使用りんごオーナーの皆様から集めさせていただきました自然災害支援基金を、確かにお渡ししてきました。ありがとうございました。

（商品部 間中）



「遅霜対策の防風ファン」



コンヒューザー



参加してみませんか

<お問合せ よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613>

宇都宮

よつ葉の広場『話・輪・WA in 宇都宮』

6 月に登場したよつ葉の白だしを作っている鎌田醤油さんに
開発への思いや PB 調味料についてお話を伺います。白だしを
使ったこだわりのランチを食べながら交流しましょう。
白だしのお土産付き。

日 時：10 月 2 日（木）10：00～14：00（受付 9：30～）
会 場：宇都宮市総合コミュニティセンター
（栃木県宇都宮市明保野町 7-1）

参加費：組合員 大人 1000 円 子ども（小・中学生）500 円
一 般 大人 1200 円 子ども（小・中学生）500 円
定 員：26 名
託 児：あり（定員はない）
締切日：9 月 19 日（金）
主 催：よつ葉生協



小 山

教えて 生活アートクラブさん！
スタッシャーの使い方（実践編）

スタッシャーってご存知ですか？
生活アートクラブの方を講師に迎え、スタッシャーを使った調理
を教えてください。一緒に作りましょう

日 時：9 月 26 日（金）10：00～12：00（受付 9：45～）
会 場：小山市マルベリー館 調理実習室
（栃木県小山市羽川 858-1）

参加費：組合員 大人 500 円 子ども（小・中学生）無 料
一 般 大人 1000 円 子ども（小・中学生）無 料

定 員：15 名

託 児：なし

締切日：9 月 12 日（金）

主 催：小山委員会



伊勢崎

鎌田醤油さんに聞く！
醤油・みそ・発酵の話

よつ葉オリジナル調味料を開発した鎌田醤油さんを講師に招い
て、こだわりや新商品「白だし」などお話頂きます。お昼はみそ
や醤油を使っておにぎり作りをします。みそのお土産付き！

日 時：9 月 26 日（金）10：00～13：30（受付 9：45～）
会場：ナルセグループ伊勢崎市民プラザ 調理室
（群馬県伊勢崎市富塚町 220-13）

参加費：組合員 大人 500 円 子ども（小・中学生）無 料
一 般 大人 600 円 子ども（小・中学生）無 料

定 員：15 名

託 児：なし

締切日：9 月 19 日（金）

主 催：伊勢崎委員会



「参加してみませんか」申し込み後の案内は、SMS
（ショートメッセージサービス）で行っています。

ご参加が決定した方、抽選で外れた方等、申し込みされた後のご案内
は、よつ葉生協から SMS でお送りしています。申込締切日の翌週に
送信しますので、ご確認をお願いします。

大人のためのバランスボール教室 2 月 19 日 宇都宮市南図書館

認定 NPO 法人マドレボニータ 認定産後セルフケアインストラクターの小嶋千恵先生
をお招きして、大人のためのバランスボール教室を開催しました。当日は、12 名の方
にご参加いただきました。自己紹介し、バランスボールの正しい座り方を教わり、レッ
スススタート！

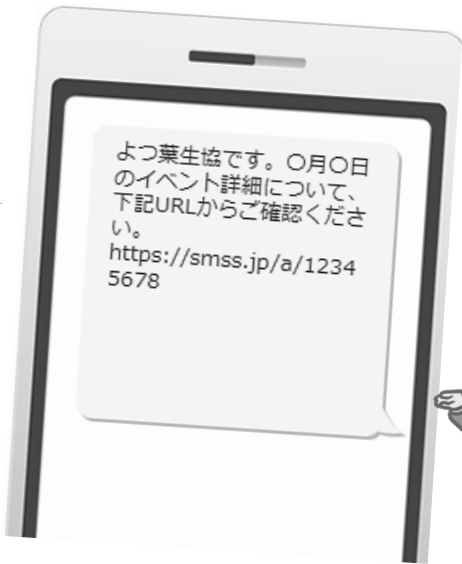
腰回りの骨盤底筋群を意識した動きや肩の周りの意識した手の動かし方など、1 時間ち
よっとのレッスンでしたが、皆さん息が少し上がりながら、いい汗をかいていました。
加齢とともにゆらぎを感じることも増えてくると思います。

小嶋先生からは、負担なく、ゆらぎに対する骨盤底筋群などを意識した動きを皆さんの
動きを確認しながら、アドバイスしてくださいました。参加された方からは、自分の身
体の左右差に気が付くことができた、気持ちよかった、姿勢がよくなった、楽しかった
など、笑顔あふれる感想がありました。また、バランスボールは正しく座れば、膝など

の負担が少ないから、おうちでも実践してみようかなという
声が聞かれました。

最後におうちでできるセルフケアの方法も教えていただき、
皆さん、とても充実した時間を過ごされました。

（宇都宮南委員会 丹羽）



お知らせ 第2回とちぎ食の安全ネットワーク学習会

「地球規模で広がるプラスチック汚染：プラスチックの現実と未来へのアイデア」

食の安全性の面からも、マイクロプラスチックが海洋生物や大気から人体に影響を与えることが問題になっています。このようなことから、「とちぎ食の安全ネットワーク」で今回の学習会を企画しました。多くのご参加をお待ちしています。

日 程 9月30日(火) 13時30分～15時30分

会 場 宇都宮市文化会館 3階 第1会議室

栃木県宇都宮市明保野町 7-66 TEL 028-636-2121

講 師 東京農工大学 名誉教授 高田 秀重 氏

参加費 無料

締め切り 9月23日(火)

申し込み、お問い合わせ

(とちぎ食の安全ネットワーク事務局) 栃木県生協連

TEL 028-680-5592 平日 9:00～17:00



参加申し込みQRコード

文化イベント情報 ■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

宇都宮

登校拒否・不登校を考える 夏の全国大会 2025 大会テーマ「不登校・今を生きる ～つながって学び合おう～」

- 日 時 9月14日(日)
10:00～オープニング「文科省の不登校・親支援」
上久保 秀樹氏(文科省)
10:50～親シンポジウム
「不登校の我が子に教えられてこと」
12:00～昼食
13:00～講演「不登校・今を生きる ～つながって学び合おう～」
木村 泰子氏(大阪市立大空小学校初代校長)
14:40～分科会
16:10～エンディング

●会 場 ライトキューブ宇都宮/オンライン ZOOM 参加

- 参加費 大人プログラム 1000 円
※「寄付付き」のチケットもご用意しております。
子どもプログラム 1000 円
- 申込み 「Peatix」(イベントチケットサービス)
<https://futoko-zenkoku2025.peatix.com/>
- 締 切 9月11日(木)
- 問合せ 特定非営利活動法人 登校拒否・不登校を
考える全国ネットワーク
TEL 022-628-9181
メール info@futoko-net.org
HP www.futoko-net.org



←お申込み QR コード

自然の家みかも主催事業

旬の味覚を味わう 農業体験

巨峰の収穫体験や施設で BBQ が楽しめます 🎵

開 催 日: 9月7日(日) 11時～15時

場 所: 栃木 JIMINIE 倶楽部 自然の家みかも、かかしの里

募集期間: 8月1日(金)～8月31日(日)

申込方法: QR コードからお申込みください。

費 用: 大人 5,500 円 小学生以下 5,000 円

※詳細は、HP からご確認ください。



栃木 JIMINIE 倶楽部 自然の家みかも

住所: 栃木県栃木市岩舟町下津原 1808-1

TEL: 0282-21-8799

H P: <https://mikamoshizennoie.com/>



■文化イベント情報掲載希望の方へ

組合員が関わっている文化情報です(直接よつ葉生協とは関係はありません)。

原稿締め切りは開催日の6週間前です(申込み締め切りのある場合は締め切りの6週間前)。掲載する週を希望することはできません。

掲載は無料ですが、スペースの都合上掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。



東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (8月1週分)

ご協力ありがとうございます。 (8月2週分)

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位: 円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	12, 000
震災孤児を支援する募金 (910 番)	36, 900
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	15, 200
合 計	64, 100

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

「よつ葉生協は、栃木県生協連と栃木県との包括連携協定に基づき、県の広報に協力しています」